

東京都防災会議地震部会（第5回）議事概要

1. 地震部会の概要

日 時：令和4年4月27日（水）

会 場：持ち回り開催

出席者：平田部会長、中林部会長代理、加藤委員、規矩委員、酒井委員、佐竹委員、
久田委員、三宅委員

2. 議事概要

被害想定に関する報告書（案）について、持ち回り開催を行った結果、下記のとおり意見があった。

- 評価に伴う不確実性として、首都直下における地震についてはどの場所が震源となって発生するかを具体的に予測するのが困難である点や、南海トラフ巨大地震における津波高についても想定するケースによって幅がある点について示すこと。
- 報告書においては、近年の社会状況の変化や、市街地の変化について丁寧に記載すること。
- 各種被害が複合的に生じた場合や相互に関連し合った場合の被害を定量的に評価することには限界がある点や、被害が少ないと想定された地域でも局所的には被害が生じる可能性がある点を示すこと。
- 定量的な評価については、被害の規模感が正しく伝わるように、例えば、都内の道路や鉄道の総延長、エレベーター台数などのデータを併記すること。また、長周期地震動についても、影響が生じると考えられる建物棟数の規模感を示すこと。
- 都民が自分の身の回りで発生する具体的な被害を想像できるよう定性的な評価を充実させた点を、今回の被害想定のポイントとして適切に伝えること。

以上